

議案質疑

質疑の主なものを要約して紹介します。

○鞍手町課室設置条例の一部を改正する条例

Q 「まちづくり対策課」は、遠賀川架橋と九州縦貫道の業務に取り組むと聞いているが、出来上がれば解消してしまうのか。

それでは、「まちづくり対策課」という名称は、

整合性がとれていないように考えるが。

A 「まちづくり対策課」は、遠賀川架橋と九州縦貫道インターチェンジの関係で専門的に行いますが、都市計画に関すること、開発事業に関することとの業務も行います。

新しいまちづくりの中でいろんな行政ニーズにも対応していきますの

で、継続的にまちづくりには必要な課と考えています。

Q ひとつ課を起こすことによって、課長職がひとり増えます。

特に遠賀川架橋とか九州縦貫道インターチェンジ等はこれまで企画財政課の中でやってきたので、今後も企画財政課の中に特別な編成チームを作ることも考えられたのではないかと。

A 今までではほとんど机上の仕事でしたが、これからは現地での実務が伴ってきます。多くの地権者の皆さんとの協議も出てきますので、きちんとした課を設けて対応すべきだと思っています。

具体的な中身は。

A 少子化対策の一環として地域における子育て支援、母親と乳幼児の健康確保の増進、子どもの心身の穏やかな成長に資する教育環境の整備、子育て支援に要する生活環境の整備、職業と家庭生活の両立の推進等、主なものを内容として次世代支援行動計画を策定するようになっています。

Q 鞍手町循環バス導入に関する検討委員会の委員は広く公募するとともに、女性も複数入れてほしい。

A 議会とすり合わせをしながら検討していきます。

ているので、定員数を60名から90名にしますが、現在の施設で対応できるのか。

A 年度途中で定員数の125%までは待機児童ゼロ作戦ということで認められています。

これが3年以上続いた場合には速やかに定員を変えなさいという指導があつていますので、今回変更します。

以前剣第一保育所は110名という定員でありました。施設そのものは130名位までは受け入れられる施設になっています。

○平成15年度鞍手町一般会計補正予算

Q 高齢者住みよか事業の助成金が150万円減額になっています。その具体的な内容と、1件当たりの金額はどうなっているのか。

A 鞍手町住みよか事業の助成金は、30万円までを限度として給付されるものです。

また、この住みよか事業の助成金を知らないで困って自分で改修した事例も多々出ています。もっと親切丁寧はこの事業の推進をして頂きたいが。

A 鞍手町住みよか事業の助成金は、30万円までを限度として給付されるものです。予算では10人を予定しておりましたが、現在利

まちづくり対策課



新設された「まちづくり対策課」



剣第一保育所

用者が少ないということ
で5人分減額しました。
周知については、もう
少し徹底していきたいと
思います。

○平成15年度鞍手町
介護老人保健施設事
業会計補正予算

Q 昨年11月の臨時会
で、人事院勧告の給与減
の条例案が可決されまし
た。今回の補正予算は、
4月に遡って引いてある
ものなのか。

A 人事院勧告に基づ
き、4月まで遡って減額
したものをあげていま
す。

Q 老健施設を開設して
3年になります。
当初から、町長はゆく
ゆくは60床にしたいとい
う考えで建設されたもの
であります。現在のところ
はまだ50床で運営して
います。増床の見通しの
目途はあるのか。

A 県の高齢者福祉課と

○平成16年度鞍手町
一般会計予算

増床の協議を進めていま
す。
予定として18年度には
整備したいと考えていま
す。

Q 直轄合併協議会負担
金314万9千円とあり
ますが、これは一市四町
を枠組みとした合併協議
会負担金の額でしょうか。

3月5日に町長は若宮
町が離脱したので、一市
三町でいきたいと表明さ
れました。
一市四町が駄目になっ
たということであれば、
この予算は新しく合併の
枠組みが決まるまで削除
して、決まった段階で補
正を組むべきだと思っ
た。

A 若宮町が離脱表明し
ましたが、直轄合併協議
会が解散したわけではあ

りません。

宮田町長の判断が3月
中に出ますので、これら
の推移を見ながら十分議
会と協議しながら取り組
む必要があるだろうと思
います。

Q インターネット通信
料338万9千円の内容
は。

A 情報系のワイドラン
通信料、プロバイダーの
利用料、機関係のワイド
ラン通信料などです。

Q 住基ネットワークシ
ステムのカードの発行委
託料7万2千円は何枚の
カード発行を予定してい
るのか。

A 16年度は、50枚予定
しています。平成15年度
は14枚カードを発行しま
した。

Q 老人対策費の工事請
負費1千500万円の中
身は。

A 公共施設の除草工事
の前期分です。

Q 知的障害者施設支援
費1億2千5万8千円に
ついて、現在の状況は。

A 鞍手町出身の知的障
害者の方が県内26の施設
に46人入所されていま
す。

Q 次世代育成支援行動
計画策定業務委託料とあ
るが、その内容は。

A 計画の素案を業者に
委託して作り、それを基
に策定委員会で意見を聞
いて行動計画を作り上げ
ます。

Q 鞍手駅関連施設の全
てをJR九州へ無償貸与
する内容は。

A これまで社会福祉協
議会に委託していました
が、JR九州から無償貸
与の話がありましたので、
鞍手駅関連施設の全
てをJR九州へ無償貸与

し、管理運営をしてもら
います。JR九州は関連
企業であるJR交通企画
に委託すると思います。
7月を目途に進めていき
たいと思っています。

Q 鞍手駅前駐車場は
どうするのか。
また、駐車料代金はど
うなるのか。



鞍手駅前駐車場

A 駐車場も含めて対象
としています。
周りに民間の駐車場が
出来ていますので、現在
駐車場の収支はマイナス
となっています。



老健施設「鞍寿の里」

Q 老人保健福祉計画推進委員会委員報酬が組まれているが、年間1回開催され、計画を立てるだけでは、不十分である。それがどのように推進されていくのか、進捗状況を見ながら常に改善していくべきであると考えが。

A 平成15年度に老人保健福祉計画の見直しを行いました。毎年老人保健福祉事業について遂行状況を委員さんに見て頂いています。回数は1回となっていますが、会議の内容によって増やすことは可能です。

Q 県の同和事業は終息の方向に向い、町自体もそういう方向で同和事業は5年間で無くしていくという中で、団体補助金だけ残していくという考え方に同意出来ないのですが、見直しはどのようなのか。

A 確かに法失効という形の中で終息の方向に向かっています。しかし現実には差別事件が起きている実態は否定も出来ません。

そういう意味合いでは今回の予算を提案したというところでご理解をして頂きたいと思います。

Q ペットボトルのリサイクルを始めて3年近くになります。町としてはペットボトルのリサイクルを燃えないゴミ袋に入れていくのか。それとも別の袋を無料で配布して、もつと回収率が上がるようにしていく気持ちはないのか。

A それで独自で平成15・16年度に各家庭にチラシを配布し、月1回の回収しています。今後の検討課題にさせて頂きたいと思います。

Q 活力ある高収益型園芸産地育成事業補助金は、何%補助されているのか。

A 県が50%補助します。

Q 輸入急増農産物対応特別対策事業補助金は、何%補助されているのか。

A 国が50%補助します。

Q 防火水槽新設計画は1基ですが、場所は。

A 建設場所は、決まっています。とりあえず1基分として計上しています。これまでは、過疎債を併用しながら3基計上してきましたが、一般財源化で国の補助金がなくなつたため、1基としています。

Q 幸ノ浦の建設費と造成、解体等が入っていると思いますが、詳細な中身を。

A 建築については、12戸を予定しています。それと住宅内の道路整

備、下水道工事、児童遊園、水路整備、不良住宅の除却工事を含んでいます。

Q 大谷地区の工事請負費1億3082万3千円の中身は。

A 平成15年、16年、17年と継続事業で実施している自然公園整備事業です。16年度の工事請負費の中身ですが、バンガロー、防火水槽及び排水汚水設備、管理棟の工事を発注する予定です。

Q 中央公民館の入り口の左手にロビーがありま

来年度からはそういう機械撤去ではなく、蔵書が凶られるよう検討していきたいと思っています。

A 平成16年度も一応予算要求して、前の喫茶室の後に公民館全部に空調がいくような機械が座っていたわけです。その撤去を含めたところの予算措置をしていますので、予算的には高額な予算になっています。また、

A ゴルフ場を利用する人が減っているためです。

Q 保育所負担金は、国庫負担金が一般財源化され、普通交付税の中に算入されるようになりました。

これによって、町としては歳入は増えるのか減るのか。また、その差額はいくらくらいになるのか。

A これまでは、国庫補助金として1億円きていましたが、今後減つた分を交付税と所得譲与税で賄いますが、8割程度しか措置できません。

また、県の保育所負担金5000万円についてもどうなるか定かでない状況です。



中央公民館のロビー